

一之宮まち協だより

第19号

平成27年12月1日

一之宮町

まちづくり協議会

広報委員会

高山市一之宮町3087

電話 53-2424

一之宮町文化祭

一之宮町文化祭が11月の1日、3日に開かれ、3日の芸能祭、収穫祭では公民館ホールや公民館裏に設置された会場が来場者でいっぱいにな

るなど多くの人で盛り上がりました。今年の文化祭は、ここ数年間行なわれていなかった収穫祭の復活を前に、町内各種団体が連携して取り組もつと、まち協のほか

飛騨位山交流館で展示されました。3日には芸能発表や収穫祭に訪れた人が交流館まで足を運び、いつもより多くの人が展示品を鑑賞して

今年の収穫祭はかつてない程の人で賑わった。飲食関係が充実して、サンマ、つきたてのお餅、豚汁、ごはん、女川のつみれ汁は無料！地元野菜や新米、リンゴ、みかん、飲み物、だんご等お値打ち販売だった。座席が相当数ある飲食スペースは満席で、来場者は秋の海と山の味覚に舌鼓を打った。中学生が各ブースや会場にお手伝いとして配属され、スタッフと共にイベントを盛り上げた。今回の目玉である600匹のサン

老若男女の笑顔あふれ大成功

マの炭火焼は、助っ人の中学生の活躍で待ち時間もなくスムーズに提供でき、女川ブースでは善意の募金が集まった。今年の収穫祭は各ブースのスタッフに活気があり、老若男女の来場者の方々も笑顔であふれ、イベントとして大成功だったと思う。中学生を巻き込んだことも良かった。地元の人で企画・運営し、地元の人で賑わい、地元の人を楽しむイベント。この収穫祭が、宮の人みんなが毎年心待ちにするようなイベントに定着していくことを願う。(広報委員 野添一幸)

町内の関係者40人で実行委員会を立ち上げ、企画実施しました。

今年の特徴は、宮中学校が授業として文化祭に

参画すること、文化祭を女川交流事業及び「体験の風をおこそう」事業の一環として位置づけたことです。

具体的には、宮中生徒が企画から実践までスタッフとして参加して文化祭を支えたほか、女川交流事業では女川水揚げのサンマを焼いて提供し、「体験の風をおこそう」では祭り伝承芸能の「水無の舞」「闘鶏楽」を子どもたちが演じました。

展示会場も賑わう

文化祭の作品展示には水墨画や手芸、絵手紙など約100人、124作品が出展され、1日から



Rising・Sunを踊る中学生



披露された「水無の舞」



収穫祭会場で行われた餅つき



サンマ焼きに忙しい中学生



展示作品を見る来場者



最後を飾る勇壮な太鼓の演奏

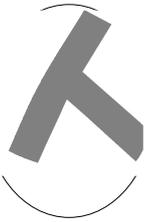
芸能発表はグループ出演16組、個人出演12人で、演目、発表者とも増えました。それに伴い観客数も大幅

に増えて、例年のように子ども達の発表などお目当ての演目が終わると席が空くこともなく、全般的に席がほぼ埋まっているという状態でした。今年も、保育園年長児が初参加して会場を沸かしたほか、中学では従来の3年生による

サンマや豚汁などサービス

公民館裏に設置された収穫祭会場では、地元農産物をはじめ、だんごやミカン、パン、それに女川産品の販売などが行われました。また、豚汁やご飯、それに焼きサンマやつみれ汁のサービスが行われ、飲食用テントが賑わっていました。

3日の文化祭に合わせて、公民館では飛騨まわり会による健康展が行われたほかお茶席も設けられ、宮中学校校舎では学習発表展示も行われました。



元気の源は運動や孫・ひ孫 民踊では指導者として貢献

山越 きよよ さん

(本通中)

今月の「まちよな人」は、本通中の山越きよよさん(86)です。私としては、学校のアルバムを作成していただいた「やまびこ写真館」のおばちゃんというイメージがありました。

お会いして、かくしゃくとしてみえる姿は昔のままだと感じました。元氣な秘訣は、運動していること、孫やひ孫に囲まれて幸せのおかげだ、とのこと。宮診療所の看護師であったという仕事上からも健康やりハビリの運動に関心があったそうです。

30年以上も前にヘルスクラブ発足当初から入って活動を続けられ、今も毎週金曜日に参加されてみえます。クラブは当初100名を超えていたが、今は30人くらいとなっていて、寂しいと言われました。元氣の源は長年にわたっての運動にあるようです。

山越さんといえば民踊ですが、こちらは50年にわたり続けてみえ、全国大



いつもお元気な山越さん。下の写真はひ孫の旺右(おうすけ)君と

会に何度も参加されました。大会では手本となる踊りなので、間違いないきちんと踊らなければならず大変緊張したと言われました。

平成24年には、民踊部門で伝統文化継承に尽力し功績があったとして岐阜県より顕彰表彰を受賞されました。今も同好会で皆さんと一緒に踊ったり、指導したりしてみえます。体を動かす、人に教えることは頭も使って健康に良いと言われました。

山越さんは宮村当時、長きにわたり文化協会の中心となって、文化祭にも関わってみえました。今年の一之宮文化祭を見に行かれた感想として「久しぶりの収穫祭があつてよかったです。何より中学生が参加して盛り上げてくれ、涙がでるほどよかったです。感動した」と話されました。

今は、孫が10名、ひ孫が12名みえるということと、「孫やひ孫に囲まれ、世話をするのが楽しみ」と、幸せ一杯という感じで話をされる山越さん、訪ねたときも、プリクラ仕様のひ孫との写真を見せていただきました。

ヘルスクラブに民踊、そして「まゆ雛」づくりと、忙しく、楽しく、元氣

に趣味や運動を末永く続けられてほしいと思います。

(広報委員 山腰)



いつもお元気な山越さん。下の写真はひ孫の旺右(おうすけ)君と



茶の湯と子供達

代情 悠子 さん(駅前)

中学の頃より興味を持ち、高校の時から始めた茶道。あれから60年、よくもまあ飽きずにやってきたものだなあと感慨深いものがあります。お茶は一人でやっても楽しくないので、近くで一緒に楽しめる仲間が欲しいと、宮で茶道をやりはじめて30数年になります。

今では、良き仲間が沢山出来ました。時には静肅に、時には和気あいあいと和みあい、移ろ行く四季を愛でながら楽しんでます。

ここ十数年、小学校のふれあいやサタディ教室へ仲間達とお茶を教えに行っています。

最初の頃は小さい子供達にどう教えたらいいのか戸惑ってました。参加してくれる子も少なかったけど徐々にお茶が好きという子が増え、近頃ではうれしい悲鳴をあげています。

サタディ教室で、初めの頃、1年の女の子に肩を叩かれ「おしっこがしたいの」と訴えられた時は「ハッ!」としました。そうだと休憩も入れなければ、と反省しました。子供達に教えられ、仲間にも助けられ近頃やっと余裕が持てるようになりました。

子供達も楽しみながら真剣にやってくれ、その理解力に驚

かされます。最近夏に野点等も取り入れてみました。

今年の7月、6年の社会の授業に呼ばれ、「お茶と武士」というテーマで、お茶の歴史、信長、秀吉、利休達とお茶の関わりを話しました。

そして風炉釜を囲んで大きい輪になってその中でお茶を点て、

今までお茶をやった子、初めての子達もみんなが真剣なまなざしで見守り、また、いろいろ質問もしてくれました。点てたお茶も自然体で運んでみんなでお茶を味わいました。

後の子供の感想の中で、秀吉の黄色の茶室に興味を持ったのでインターネットで調べたら、茶室も内の道具もすべて金で作られていた、と知って秀吉ってなんてお金持ちだったんだろうと驚いたとありました。

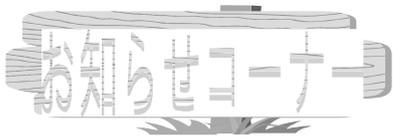
利休以前よりはじまり、500~600年も続いている茶の湯。日本の伝統文化を未来ある子供達に少しでも多く伝えられる事に幸せを感じている此頃です。



茶の湯文化を子どもたちに伝えたいと語る代情さん



子どもに教える代情さん



**高山市図書館
一之宮分館「おはなし会スペシャル」のご案内**

「お話玉手箱」による楽しいクリスマスのおはなし会です。

【日時】12月5日(土)午後1時~2時

【場所】一之宮公民館 和室

【内容】絵本・紙芝居の読み聞かせ・クリスマス 테마にした劇・簡単な工作 入場無料・申込不要です

火の元点検のご案内

消防団員等が各家庭を訪問し、消火器の安全点検を行います。

【日時】12月 6日(日)午前8時30分~

この日は13:00より消防団秋季訓練も予定されております。12:30にサイレン吹鳴を行います。



年末お鏡餅づくり教室参加者募集!

まち協福祉委員会では、「地域のおじいさん、おばあさんと子どもでお鏡餅を作ってお正月を迎えよう」と、餅つきとお鏡餅作りを計画しました。ぜひ参加してください。

【日時】12月27日(日)午前10時~12時頃

【会場】一之宮公民館

【対象】小学生、孫のいる年代の人(実際に孫がいるかどうかは問いません)

【参加費】1人100円

【持ち物】お鏡餅を入れる容器

【申込み】一之宮公民館(53-2424)まで

【締切】12月15日(火)



【会場】一之宮公民館 ホール

新1年生対象「スキー教室」参加者募集

平成28年度の新1年生(現年長)を対象にスキー教室を開催します。

スキー学校の先生に教えていただくチャンスです!

【日時】12月30日(水)、平成28年1月7日(木)

いずれも午後1時~3時

【会場】モンデウススキー場

【講師】モンデウススキー学校

【対象者】平成28年度新小学1年生

【申込み】一之宮公民館(53-2424)

【締切】12月21日(月)

参加費は無料ですが、リフトを使う場合は別途徴収



一之宮町まちづくり応援事業補助金募集

一之宮町まちづくり協議会では、一之宮町における地域の活性化及び特色あるまちづくりの推進を目的に、一之宮町まちづくり応援事業補助金制度を設けています。

交付の対象者は、(1)町内会、班(2)ボランティア及びNPO団体(3)教育、芸術、文化およびスポーツ団体(4)商業、農業及び経済団体等で、補助対象事業は地域の福祉事業、教育文化振興事業、生活環境整備事業、スポーツ・交流事業等です。

施行後これまで諸般の事情で実施していませんでしたが、今年度暫定的に実施することとしました。

交付金額は補助対象経費の3分の2で上限は20万円となっていますが、今年度は申請状況によって調整します。

該当団体がありましたら、まち協事務局にて申請書類をお受け取りのうえ、今月25日(金)までに関係書類を提出されますようお知らせします。

なお、詳細についてはまち協事務局(53-2424)までお問い合わせください。

図書館だより

今年も一之宮分館をご利用いただきありがとうございました。来年も素敵な本との出会いをお手伝いします。

お知らせ

おはなし会スペシャル
日時:12月5日(土)午後2時

場所:一之宮公民館 和室

「おはなし玉手箱」による楽しいおはなし会です。

入場無料・申込不要です。

一之宮分館

年末年始の開館について
年内は12月27日(日)まで、新年は1月5日(火)より開館いたします。

「煥章館」蔵書点検による
休館日のお知らせ

高山市図書館「煥章館」は12月5日(土)~11日(金)まで蔵書点検のため休館いたします。

今月の特集

女性作家の世界

有川浩、阿川佐和子

など女性作家の作品を紹介いたします。

クリスマスの絵本

クリスマスの絵本を集めます。親子でぜひご覧ください。



公民館から

展示コーナー

生涯学習講師作品展
(12月末まで)

12月の公民館定休日
14日(月) 24日(木) 28日(火)

31(木) 年始は4日より

12月の位山交流館定休日
7日(月) 14日(月) 21日(月)

28日(月)~31(木) 年始は5日より

日	曜	行事内容
27	日	行政相談・心配ごと
25	木	結婚相談(交流館)
21	月	火の元点検・消防秋季訓練
19	土	昭和歌謡教室(公民館)
12	土	サタデイサークル
9	木	チエアエクササイズ(公民館)
7	月	昭和歌謡教室(公民館)
6	日	消火の元点検
3	木	結婚相談(交流館)

一之宮町の人口情勢

世帯数	8 1 2 戸		
	年齢	男性	女性
0~14歳	185	155	340
15~64歳	702	726	1,428
65歳以上	338	460	798
合計	1,225	1,341	2,566

11月1日現在・単位:人

編集後記

もう師走です。1年が過ぎようとしています。多くの行事も無事に済んでいく嬉しさと、日々が早くすぎていくのに驚くこの頃です。まち協広報委員会としては行事がなくなる今後が特に寂しいところですが、皆様、何か情報があれば連絡ください。ご協力をお願いします。(山腰)

つばやき

乗鞍岳や笠ヶ岳などの高い山々の頂きに白いものが降り始め、今年も師走になってしまいました。こうしてまたひとつ年を重ねていくかと思うと、一抹の寂しさを憶えます。ただ寒い冬を迎え、炬燵で丸くなってばかりでは人生が少しもったいないと思います。いよいよ冬本番、アンチエイジングを目指し元気にフィールドワークを楽しみたいとします。読者の皆様にとって来年が素晴らしい年でありまうようにお祈りいたします。(影郎)

宮中3年生が平和宣言

高山市平和サミットが10月30日に松井広島市長や田上長崎市長などを迎えて開催され、その前に、市役所ロビーで宮中3年生による合唱や平和宣言が行われました。

ロビーでは、松井、田上両市長や國島市長などサミット関係者を前に、「HEIWAの鐘」を合唱し、3年生の中から9人が平和宣言を読み上げ、この後「平和の絆」の証を打ち鳴らしました。



関係者を前に合唱する宮中3年生

中学生が源流の森観察会

源流の森と防災ダム観察会が10月31日に宮川防災ダム周辺で、宮中学校全学年が参加して行われました。これは「体験の風をおこそう」プロジェクト事業の一環として、体験を通して地域の環境への理解を深めようと実施されたもの。講師は飛騨森林管理署宮森林事務所の岩倉森林官や森林管理署OBなど7人が務めました。

観察会は2班に分けて行われ、防災ダムの説明や赤松林の散策、丸太を切つてコースターを作りました。



講師から説明を聞く中学生

ダムでは、昨年の大雨時の貯水量の説明を聞き、改めて防災ダムの重要性について認識しました。散策中、イノシシやシカの足跡を確認し、その後、はく製を使った身近な野生動物の説明も受けました。

認知症講演会を開催

まち協健康福祉部福祉委員会が主催する「認知症講演会」が11月13日、デイサービスセンター八光苑の職員を講師に開催されました。

講演では、病気によって表れる記憶力や理解力の低下などの進行は介護の力で軽減することはできないが、本人に心理的不安を与えない介護や家族や周りの人の関わり方次第では問題行動などを抑えることができるという話に、集まった30人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

10年後には、65歳以上の5人に1人が発症すると推定される認知症を理解し、その人の気持ちに寄り添うことでよい関係をつくるのが大切だと感じました。(野口)

宮中駅伝部が県大会4位

宮中駅伝部男子チームが11月7日に山県市四国香りの森公園周辺道路

で行われた第24回岐阜県中学校駅伝大会で見事4位入賞を果たしました。この大会では2区を走った清水宝君が区間新で区間賞をとりました。同チームは10月に行われた高山市大会で3位、飛騨地区大会で5位と健闘し、県大会では市大会や地区大会で負けたチームにも勝つてこの結果を出したものです。

勝因は9人のチーム力で、裏方を支えた補欠選手のサポートも大きな要素でした。選手は次の通り(敬称略) 横山昇太郎、清水宝、役田陽、谷口晴基、加納裕太郎、幅上翔太、黒木健斗、黒木大望人、内木元基



見事4位に輝いた駅伝部の9人

女性委2地区が自主事業

東地区でボウリング大会

東地区では11月15日高山市昭和町にあるプレイヒートにて「ボウリング大会」を行いました。ほとんどの人が久しぶりのプレーで、中にはマイボールを持参者もいて、参加者9名はワイワイ楽しみながら、ストレス発散をすることができました。



ボウリングに参加したみなさん

民館で、講師に後藤さえりさんと清水妙子さんを招き、「アロマオイル講習会とハンドマッサージの会」を行いました。

日頃忙しく、なかなか手のマッサージもできない中、参加者16名はお互いの手のぬくもりとアロマの力でも癒され、和やかな時間を過ごしたりラックスできたよかったです。(牛丸)



アロマの効用を試す参加者

市議員と意見交換会

高山市議会が地域ごとに開催している地域別市民意見交換会が、一之宮町では20日に一之宮公民館で開催されました。交換会には議会側からは6人の議員が、町内からはまち協議員など30人が出席しました。

交換会では、今年度から市内全地区でまちづくり協議会が活動していることから「協働のまちづくり」を主要テーマに行われました。参加者

からは「協働のまちづくり」と既存の組織との関係が不明確、高齢化の中でキーパーソンがいけないなど、制度の内容や必要性、課題等について意見が出ていました。

スクールサポーターに感謝

登校時に交差点などに立って児童生徒の安全を支えてもらっている方々に感謝の意を伝えようと、スクールサポーターズ感謝の会が11月24日に宮小学校体育館で行われました。会では6年生の中敷梨乃さんが代表して感謝の言葉を述べ、続いて6年生代表者から出席したスクールサポーターズ6人とスクールバスの島田証さんにシクラメンの鉢が贈られました。

中川校長からは「毎日街頭に立られてみなさんの安全や健康や成長を見守ってくださっていることに感謝していただき」との語がありました。スクールサポーターズは、昨年11月に発足した、「一之宮町子ども見守り隊」の地域ボランティア14人で構成されています。



笑顔でシクラメンを受け取るサポーターのみなさん